

川柳文化センターが取組む 子どもの 居場所づくり

川柳文化センターでは、今年度、「川文」が地域の子どもたちの「居場所」となるきっかけになればと様々な事業を実施してきました。

これは、草加市が地域の皆さんと地域の将来像を定めた計画「コミュニティプラン」で抽出された「地域課題」に基づき取り組んでいるものです。

このプランでは、川柳文化センターを活用し「子どもから高年者まで誰もが利用しやすく、生きがいや健康づくり・仲間づくりなどができる、子どもたちの健やかな成長にもつながるような場所にする」とされています。

今回の館報では、この「子どもの居場所づくり」につながる「川文」の取組みについて、ご紹介いたします。

地域団体「あおぶれ」との 七夕まつり・子ども収穫体験講座

青柳・柿木地域の計画「コミュニティプラン」の課題に取組もうと結成された地域団体「あおぶれ」と協働で、子ども対象の事業を実施しました。

7月に「七夕まつり みんなおいでよ」、2月から10月まで園庭を使い、サツマイモ・ジャガイモを育て収穫する「子ども収穫体験講座」を開催。

施設の活用の可能性や子どもの居場所となる事業は、どのようなものが有効かなどを検証し、今後の事業につなげることができました。



「七夕まつり みんなおいでよ」
託児室を使った幼児の体験コーナー

おもちゃ病院・おはなしの広場の開催

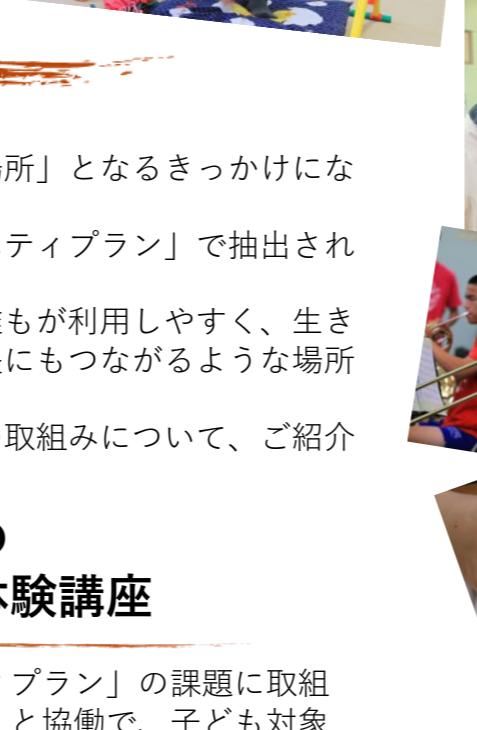
地域のボランティア団体の協力により、おもちゃ病院事業、読み聞かせ事業を実施しています。

●おもちゃ病院（第3金曜日 10時～12時）

壊れたおもちゃを日本おもちゃ病院協会に登録の「Toy Doctor」が診療（修理）する「おもちゃ病院」を開院しています。

●おはなしの広場（第2・4金曜日 10時30分～11時15分）

乳幼児の親子を対象に、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを行います。親子での地域の仲間づくりにもなると評判です。



夏休み期間の子ども体験講座等の開催

夏休み期間の子どもたちに「学びの場」を提供する体験講座を今年度も多数開催しました。

日ごろ子どもたちが体験できない、パン作り、茶道講座、卓球、英語遊び、和太鼓体験など、川文利用団体等を講師に迎え実施しました。

また、書道教室、電気工作教室などの講座は「夏休みの宿題にそのまま使える」と大変好評で多くの子どもたちが参加し、講座の成果物を大切に持ち帰っていました。



●夏休み学習応援講座

夏休み期間を通じて毎週金曜日に「学習の場」を提供する事業です。地域ボランティアの先生方が講師となり、子どもたちの「夏休みの宿題」を一緒に考えたり、ペットボトルを使った工作の行うなど子どもたちの「夏休みの居場所」となる取組みを行いました。

●川柳中学校吹奏楽部演奏会

今年も川柳中学校吹奏楽部を招き、8月にサマーコンサートを開催しました。中学生も多数来館し川文で夏休みを楽しみました。

ロビーを学習スペースに リニューアル

川柳文化センターのロビーを模様替えし「学習スペース」を設けました。これまで学習スペースは学習室（図書室）だけでしたが、ロビーでも自主学習など行えるよう設えました。

●利用時間 小中学生は「夕焼けチャイム」まで

幼児・青少年の学習団体（社会教育団体）の応援

川柳文化センターでは、幼児・青少年の学習等を行う社会教育団体が活動しており、随時仲間を募集しています。興味のある方は、まずは川柳文化センターに相談してください。

●びーんず（幼児体操）：毎月2回木曜日または月曜日 9時50分～11時

●ボーイスカウト草加第3団（ボーイスカウト）：不定期 月2～3回

●青柳子ども会（子どもの育成・親子レク）：月1回（土、日、祝日）

●書道サークル朱葉会（書道）：火曜日 15時～19時

●ハッピーキッズ（子どもの英会話）：（どちらか）水曜日15時30分～ 木曜日16時10分～

●雅交遊会（和太鼓）：土曜日 19時～21時

●青柳太鼓愛好会（和太鼓）：土曜日 10時～12時

●草加東サッカースポーツ少年団（サッカー）：土・日曜日・祝日

●草加チアーズスポーツ少年団（バレーボール）：水・木曜日18時～20時 土・日曜日8時30分～12時

地域食堂「草加あおはる食堂」

川柳文化センターでは、子どもも大人もみんなが利用できる地域の居場所「草加あおはる食堂」に会場を提供しています。「おなかを満たす」だけではなく、ここに来るだけでワクワクする、笑顔になる、心躍るうれしい地域食堂を目指し開催しています。

●開催日 毎月第4土曜日13時～

●料 金 子ども：100円、大人：300円

※令和8年10月は開催しません

